

市政記者各位



令和4年3月1日

経済観光文化局文化財活用課

令和4年3月5日（土）に福岡市科学館のサイエンスホールで「福岡市民俗芸能公演～福を描く～」を開催いたします

今も昔も、祭りの場には“楽”が集います。この春、福岡市科学館が祭りの場となり“楽”が集い“福”を描きます！市民の皆様への広報及び当日の取材にご協力いただきますようお願いいたします。（別紙1参照）

日時：令和4年3月5日 土曜 開演 14時半（開場 14時、16時終演）

会場：福岡市科学館サイエンスホール（福岡市中央区六本松4-2-1）

定員：250人（受付終了）

福岡県又は福岡市の文化財指定を受けている市内の民俗芸能3団体が出演。



今津人形芝居—今津人形芝居保存会—

（福岡県指定無形民俗文化財）

今津人形芝居は、明治24年3月に、もと隣村大原にあった大原操人形の諸道具一式を譲り受け、始めました。もともとは、江戸時代末に、当時この地方を巡業していた阿波や大分中津北原の人形芝居を採り入れたとされています。現在の保存会の会員数は約10人です。小学校での人形浄瑠璃の教育にも力を入れています。



田島神楽—田島神楽保存会—

（福岡市指定無形民俗文化財）

※都合により、出演ができなくなりましたので、当日は、記録映像を放映いたします。

田島神楽は、近世には既に演じられていた記録が残っており、江戸時代以来の神官神楽の芸能を継承する貴重な神楽です。全体的にゆっくりとした動きで、静謐さを感じさせ、曲芸的要素が少ないことなどが特徴です。現在の保存会の会員数は約20名です。今回の会場となるサイエンスホール近くの田島地区の人々によって継承されています。



博多仁和加—博多仁和加振興会—

（福岡市指定無形民俗文化財）

「にわか」とは「にわか狂言」を略した言葉であり、祭礼において種々趣向を凝らした出し物が演劇化した即興の笑劇のことです。江戸時代中期から大阪、京都、江戸で流行しました。現在の振興会の会員数は約100名です。新春のひとときを笑いで過ごすべく、会員一同舞台に臨みます。

【問い合わせ先】

経済観光文化局文化財活用課

担当：松本・星野

TEL：092-711-4874（内線 3801）FAX：092-733-5537

1. 出演団体への取材・撮影について

団体に直接取材される場合は取り次ぎますので、必ず事前（3月3日まで）に下記までご連絡下さい。

福岡市文化財活用課 星野（TEL 092-711-4862）（内線 3832）

2. 写真掲載時の取扱いについて

提供画像を紙面等に掲載される場合は「福岡市提供」と記載してください。

3. 当日の取材について

当日取材の場合は、取材スペース確保のため、事前に下記までご連絡下さい。

福岡市文化財活用課 星野（TEL 090-3798-8636）

福岡市民俗芸能公演

田島神楽

田島神楽保存会



博多仁和加

博多仁和加振興会



福を描く
福招きの
春祭り

今津人形芝居

今津人形芝居保存会

今も昔も、
祭りの場には、**楽**が集う。
この春、福岡市科学館が
祭りの場となり
「**楽**」が集い、「**福**」を描きます！

観覧
無料

要事前申込

2022年 **3月5日** (土)

開場14:00 開演14:30 終演16:00 (予定)

福岡市科学館サイエンスホール

福岡市中央区六本松4-2-1

主催 福岡市文化財活性化実行委員会
共催 公益財団法人福岡市文化芸術振興財団



文化庁

令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



beyond
2020

福岡市民俗芸能公演



今津人形芝居 今津人形芝居保存会

今津人形芝居は明治24年3月に、もと隣村大原にあった大原操人形の諸道具一式を譲り受け、恵比須座として創設された。大原操人形は、江戸時代末に、当時この地方を巡業していた阿波や大分中津北原の人形芝居を採り入れて始められた。恵比須座は、日露戦争ごろを最盛期として、糸島郡内はもちろん、福岡市内、早良、筑紫、粕屋郡などのほか、県外にも招かれて好評を博した。第二次大戦中は一時中断されていたが、終戦後の昭和23年に復興され、その後娯楽の多様化などによる衰退の危機もあったが、今日に至っている。

<福岡県指定無形民俗文化財>

田島神楽 田島神楽保存会

旧暦6月1日の「サナボリ」の祭りで、近世には神官が、明治維新後には氏子からなる田島神楽社が氏神田島八幡宮に奉納してきた神楽。現在は7月第2土曜日に行われている。干ばつを防ぐために毎年樋井川沿いに捧げられた人身御供に代えて神楽を奉納し、万年願として今日に至ると伝えられる。全体的にゆったりとした動きで、静謐さを感じさせ、曲芸の要素が少ないことが特色である。江戸時代以来の神官神楽の芸態を継承する貴重な神楽である。

<福岡市指定無形民俗文化財>



博多仁和加 博多仁和加振興会

「にわか」とは「にわか狂言」を略した言葉であり、祭礼において種々趣向をこらした出し物が演劇化した即興の笑劇である。18世紀半ばの江戸時代中期から大阪、京都、江戸で流行し、全国各地に伝播したと考えられている。複数の演者による即興劇「段物」や、二人で台詞を応酬する「掛け合い仁和加」、一人で演じる「一人仁和加」が博多仁和加の主体であったようであるが、現在ではそれらの「落ち」の部分が独立した「一口仁和加」が主流となっている。江戸時代以来の「ぼてかつら」を頭に、「半面」を顔に着して演じた「にわか」は、かつて全国で見られた光景であったと思われるが、その出で立ち現在は、博多仁和加にしか見ることができない。

<福岡市指定無形民俗文化財>

●出演：なかしま拓(手笛奏者) ●司会：いせりみほ

申込方法

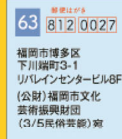
申込期間 2022年1月25日(火)~2月13日(日)

入場無料(要事前申込)定員250人程度 ※応募多数の場合は抽選

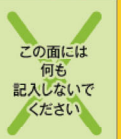
① 往復はがきでのお申込み

往信	表	〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8F (公財)福岡市文化芸術振興財団 (3/5民俗芸能)宛
	裏	「3/5民俗芸能観覧希望」と書いて、下のすべての項目をご記入ください。①申込者氏名、②ふりがな、③ご住所、④お電話番号(当日連絡のつく番号)、⑤ご同伴者名・ふりがな(3名まで)
返信	表	お申込者のご住所・お名前をご記入ください
	裏	何も記入しないでください

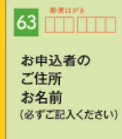
往信おもて



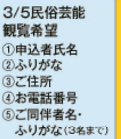
返信うら



返信おもて



返信うら



② 応募フォームでのお申込み

下の財団HPもしくは、QRコードから、指定の応募フォームに必要事項を入力してお申込みください。

<http://www.ffac.or.jp/news/detail612.html>



応募フォームQRコード

●ご応募の際に頂いた情報は抽選結果の通知及び新型コロナウイルス感染防止のため保健所など公的機関への提供以外に使用することはございません。

会場アクセス

福岡市科学館サイエンスホール
福岡市中央区六本松4-2-1



福岡市地下鉄七隈線
「六本松駅(科学館前)」3番出口よりすぐ
西鉄バス
「六本松」バス停よりすぐ

※無料駐車場はありませんので、公共交通機関等をご利用ください。

<コロナ感染予防対策> (1)新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては、公演を急遽中止させていただくことがあります。(2)公演当日は特段の事情がない限り、原則、マスク着用をお願いします。(3)ご来場の際は、手指の消毒および検温にご協力をお願いします。感染の疑いのある方のご入場はお断りすることがあります。

お問い合わせ (公財)福岡市文化芸術振興財団 TEL 092-263-6265(平日9:30-17:00) 〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8F